

丸山湿原群保全の会会報

(第 112 号)

発行日：平成 28 年 11 月 15 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788

連絡先 090 - 1895 - 8061 (今住^{いますみ})E-mail : maruyamashitugengun@gmail.com

11 月に入って急に冷え込み、最低気温が 3℃ (玉瀬) の朝も。うっすらですが霜が降りました。私は現在大阪市北区に勤めていますが、その子供たちに霜の話をしてもらっても????の世界です。もちろん霜柱も全く何のことやら・・・説明しても・・・無力感に包まれます。

アメリカではトランプさんの勝利。「強いアメリカを！再び」だそうですが、自分の国のことだけを考えてもらっては困りますね。「パリ協定」も反故ということにだけはならないことを願います。「寒い世界を再び！」と言ったらいろいろな意味で勘違いされますが、とにかく「ストップ温暖化！」。この一点です。

(今住 11 月 13 日作成)

活動報告

★10 月 21 日 (金) 晴 (掲載写真は全て当日丸山で撮影したものです。)

西谷小学校 3 年生 第 2 回環境学習受け入れ

今回は 3 名のガイドを予定していましたが、急な事情があり 2 名での対応となりました。(前回も 2 名でしたが・・・) 私は参加していませんので、また妄想入りのレポートとなることをお許しください。



ナラハヒラタマルタマフシ

湿原までの道には、前回と少し違った光景が広がっていました。

秋を少し感じる光景。その中ある生徒が、コナラの葉についた虫の卵のような物を発見！美しい！宝石のようです。卵？結論が出ません。少々たじたじの状態。しかし、虫こぶ (虫えい) かもしれないと説明。前回の学習で、駐車場付近でエゴノネコアシフシを観察しているので、少しは「ふーん？」といった生徒がいたかどうか・・・まー卵が入っているのですから、

卵と言っても間違いは無いような気がします。どうなのでしょうね。

持ち帰り、写真で同定。さすが丸山ガイド鋭い！「ナラハヒラタマルタマフシ」に間違いなし。このフシの中に入っているのは、何と「ナラハヒラタマルタマバチ」の卵???どちらが先に名前がついたのかだいたい想像がつきます。



ナラハヒラタマルタマフシ

タマバチは結構不思議な生態を持ちます。一度調べてみてください。

この玉 (虫こぶ) は、卵を産み付けられた植物 (今回はコナラ) がわざわざ卵のベッドとして作ってあげるものです。摩訶不思議！何か共生関係があるのか、ただの昆虫の策略か。誰か解明を！

おっと、小学生ですがとにかくこの虫こぶを見つけたことに拍手です。未来のファールになるに違いない。虫嫌いいなくなれ！



センブリ花

その後、センブリとマニアックな幼株の観察。しかし、センブリの幼株を知る人は少ないと思います。私も最近知りました。

2年草という言葉をご存知でしょうか。この言葉がなかなか理解できない。センブリがまさしくこの2年草です。



センブリ 1年目の越冬株

1年草・多年草の意味はなんとなく分かる。1年で花を咲かせ、種を残し一生を終えるのが1年草（生活環が1年）。多年草は根と株が生き続け、次年度も同じ個体から花を咲かせる。

2年草は？名前の通り2年の生活環を持つ。花を咲かせたセンブリは秋に種を落とす。翌年芽を出す、右上の写真のような姿のまま、1年間かけて花を咲かせる準備をする。もうひと冬越したのち晴れて開花。

そして種を残し一生を終える。苦いはずです。「よっ 苦労人！」センブリを見つけたら周りをよく見てください。約5ミリ前後の斑入り丸葉を見つけたら、それが翌年開花するセンブリです。



ウメバチソウ

そうそう、2年草ではなく小学3年生です。湿原では、ウメバチソウを楽しみ、無事に帰ってきました。あまり難しい話ではなく、湿原・山は楽しいと思ってくれば正解ではないでしょうか。あと1回活動が残っています。次回は簡単な作業（ササ刈りなど）を予定しています。保全の重要性を感じてくれるか？将来の会員を期待します。

（人手がなく子供たちの活動写真はありません。）

★10月23日（日）曇？（掲載写真は全て当日丸山で撮影したものです。）

午前 定期活動・午後 宝塚市PTA協議会様ご案内（約40名）

定期活動 1名のみ。寂しかったですが、午後の下見として湿原の見回りをしました。少々ネタ探しを。本来の活動とずれていますが、一人ですのでご容赦を。

またこの日は、西谷の森公園で「西谷の森まつり」も行われていました。そこに宝塚市PTA協議会の皆さんが参加。おそらく「社会見学」ではないでしょうか。森公園と丸山湿原、抜群の組み合わせです。



宝塚市PTA協議会の皆さん

ただ、公園から丸山までは少し距離がありアクセスをどうするかが心配でした。元気な方が多く、丸山までは徒歩。散歩感覚です。大人の方ばかりと思っていたら、こどもさんも多数。うれしい限りです。（ところがすごいことに車いすで来られた方も。素晴らしい！）



宝塚市PTA協議会の皆さん



広さを実感？

昨日と同じように、3名でガイドと考えていたのですが、同じ事情で2名に。1班20名という厳しいガイドになりました。時間も湿原見学の後に「芋ほり」が入って入るそうで1時間少々と・・・頑張ります。

(心の中では時間延ばしてやる・・・悪魔の声)

途中、湿原が生まれた仕組みを山崩れや、山からの水の染み出しを見ながら説明し進みました。ナラ枯れの話、昔の燃料林としての里山。草木の観察を猛スピードで行い湿原へ。あまり十分なガイドはできませんでしたが、県・市の天然記念物「丸山湿原群」の広さと多様性、重要性を感じていただけたと思います。車いすの方が駐車場で待つだけだったのが残念でした。何か湿原を感じていただく方策はないかなと思ったガイドでした。

★11月12日(土) 定期活動 晴

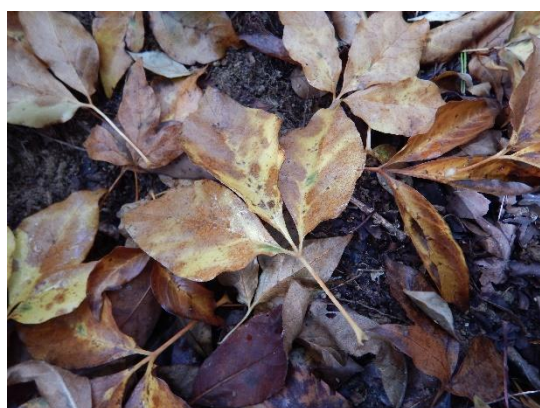
7名で活動。定期基礎調査、巡回、観察、外来種除去

目的	市内	市外
丸山	51	13
ハイキング	29	11
その他	0	0

来場者数 計 104 人

場所	時間	気温【水温】	電気伝導度
入口	10:07	17℃	
視点場	11:11	17℃	
第3湿原	10:50	【12.3℃】	28 μ S/cm
第1湿原	11:20	【11.2℃】	27 μ S/cm
第2湿原	11:35	【13.8℃】	29 μ S/cm

【湿原までの道】



タカノツメ落ち葉

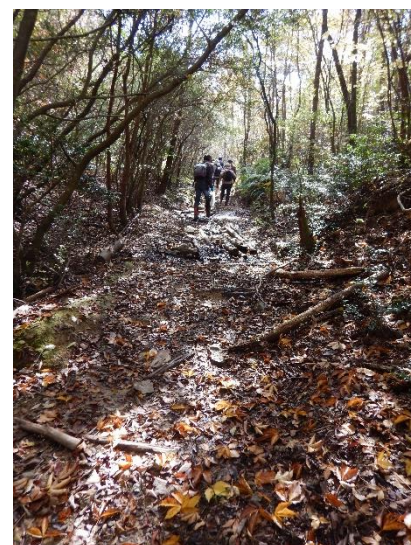
りの成分はマルトールだそうです。元はマルトース(麦芽糖)で、熱を加えるとマルトールに変化。キャラメルのような香りになるとありました。(今調べました)

山での熱の代わりは麹菌。つまり発酵によってこの香りが誕生していることになります。カツラ(桂)の木の葉でも有名だそうです。だから、落ちたての新鮮?な落ち葉からは匂わず、古くなった葉から香っているとのこと。分解にもいろいろあるもんですねー。酒にもなるかも・・・私は飲みませんが・・・

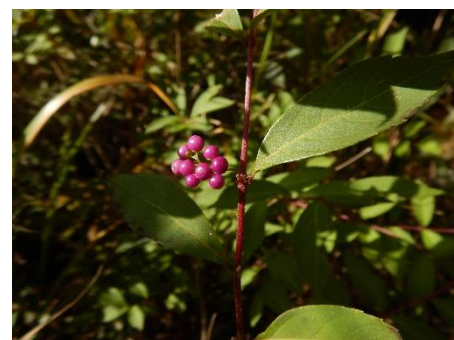
美しい紫の実も2種。ヤブムラサキとコムラサキ。ムラサキシキブとどこが違う?私はついこのような実を見ると、ムラサキシキブと断言してしまいます。



ヤブムラサキ



キャラメルの香りを感じながら



コムラサキ



ヤブムラサキの葉 表



ヤブムラサキの葉 裏



コムラサキ

例外があるから要注意。ムラサキシキブは実が少ないのも特徴です。

【湿原】

湿原もすっかり秋景色。ヌマガヤ・ススキが風に揺れています。しかし、水面に目を凝らすと何とまだミミカキグサ類が頑張っている。背丈は低くほんの 5 cm ほど。



ムラサキミミカキグサ

ウも最後の花を咲かせていました。北方系植物も頑張れ！花びらが散った後の飾り雄しべがまた美しい。新しい楽しみ方です。ブログで公開しています。ぜひ覗いてみてください。センブリもまだ何とか咲いていました。



ホザキノミミカキグサ

【丸山湿原セミナー】

今週の土曜です。参加よろしくお願いいたします。

お手伝いいただける方、12 時ごろに来ていただければ助かります。メインのスタッフは 11 時集合予定とします。

※12 月 25 日（日）第 3 湿原保全作業を予定しています。横木を入れ、水の流れを変えてみます。ご協力を。集合時間はいつもと同じ 10 時。午後も活動になると思います。弁当持参。

※1 月 29 日（日）第 2 湿原斜面、再萌芽した木本類の除去作業をします。午前午後約 4 時間の作業予定。集合は 10 時。道具は用意します。ご協力を。（1 月は作業日を第 5 日曜に変更します。）

次回活動日 11 月 27 日（日）12 月 10 日（土）12 月 25 日（日）

